

ONE TEAM

千葉市立葛城中学校第2学年

学年便り 臨時号 令和4年3月23日(水)

後期期末テストについて、5教科の先生方からの講評を掲載します。ぜひ、家庭学習の参考にしてください。2年生の学習は間もなく終わります。1年間の学習について各自復習し、苦手な部分は確実に理解できるようにしましょう。



先生方から期末テストの講評



【国語】 N先生

今回は説明文、物語文、古文、漢詩を一つずつ出題しました。いつもよりも全体的に分量が多かったため、時間配分に苦労した人も多かったようです。早く解くためには、とにかく沢山の問題に触れて「読み慣れること」が大切です。現代文や古文においては、問題を解く上で見るべき部分はある程度決まっています。入試までの長い期間を見通して、一日一題、短い文章でも構わないので、解く習慣をつけると正答率は大きく変わってきます。ぜひ、頑張ってください。

【数学】 O先生

2学年最後の出題範囲は、「図形の性質と証明」でした。直角三角形の合同条件や平行四辺形の性質はよくできていました。数学の中でも、証明は苦手という人が多いですが、筋道を立てて物事を解決していく力はとても重要です。3年生でも新たな証明を学習します。「結論を導くためのことからを考え、情報を整理し、考えたことを結びつける。」といった見通しをもって解決する力を今後も身に付けてほしいと思います。図形の定義・定理をもう一度確認し、しっかりと覚えておきましょう。

【英語】 Y先生

今回の新出の英文法は「受け身」と「現在完了形」でした。大問5が主にこれらの理解度を測る問題であり、やはり習得した「知識」を基に英文を書く「技能」の力に差が出ました。授業でもいつも伝えています。英文法を理解しただけで終わることなく、自分の言葉で表現する練習を大切にしてほしいと思います。また、ワークにある「Look&Write」などを丁寧にやっている人は、書く力が伸びています。提出の際に添削も必ず行っていますので、来年度は是非時間をかけて取り組んでほしいと思います。

【理科】 K先生

「電流とエネルギー・磁界」「天気の変化」からの出題でした。物理ではいろいろな単位があります。J・Ω・N など、人の名前です。その人たちがどのように考えていったかという過程を授業で扱っています。新しい知識や考えに触れたとき、難しいと感じるものですが、そこが頑張りどころ。理解できれば、公式が覚えやすくなり、問題を解く際にも活用できるようになります。飽和水蒸気量も同じです。ワークやノートまとめをやっているのに、テストが苦手という人・・・分かったという感覚をつかむことが肝心です。

【社会】 T先生

今回は、地理分野は「中国・四国地方」、「近畿地方」、「中部地方」、歴史分野は「欧米の進出と日本の開国」、「明治維新」でした。地理分野では、主に気候や産業の特色などをグラフや資料から読み取る問題が中心でした。気候の特色は、気温図を用いて各地方の違いを説明できるようにしましょう。また、産業の特色についても、気候とのかかわりを踏まえてどの産業が盛んに行われているかを、もう一度教科書のグラフなどを用いて確認しましょう。歴史分野では、来年度の学習内容にも関連するため、日本がどのように近代化したのか、また欧米がどのように力をつけてきたのかをもう一度復習しましょう。